

報告第7号

有限会社「そよ風遊学協会」の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定に従い、有限会社「そよ風遊学協会」の経営状況を地方自治法施行令第173条の定める書類を添付し報告します。

平成29年6月8日提出

山都町長 梅 田 穰

平成28年度 事業報告

有限会社 そよ風遊学協会

平成 28 年度事業報告

4月14日、16日の熊本地震に伴い、地震直後のおよそ1ヶ月はキャンセルが相次ぎ、特にレストランは天井崩落、全施設は水源地への被害を受け15日間ほど営業休止を余儀なくされ、売上は前年の半分以上に減少した。

宿泊については震災直後、報道関係や震災復旧関係者の利用で凌いだものの一般観光客は皆無に近い状況だった。また、阿蘇大橋や俵山トンネルの崩落など道路アクセスの遮断により、レストラン、物産館の売上に至っては前年の6割の減収であった。

夏季は「ふっこう割」などの利用で一時的に回復はしたものの小、中学校の学年活動や勉強、スポーツ合宿などは自粛となり、ほぼキャンセルとなった。また宮崎方面への営業を強化して、秋以降は少しずつ日帰りの団体客は増えてきた状況ではあるが、宿泊には繋がってきていない状況であった。旅行会社のツアーにおいても阿蘇地域のツアーには募集人員が集まらず前年より約2,700名減となっている。

上半期の減収分を下半期で少しでも回収するために営業強化に努めてきたものの、現状は厳しく1年間の利用客は前年の133,363人から101,207人となり31,856人減少している。売上については対前年90%となり約2,300万円の減収となり、経費の節減には努めてきたものの厳しい状況である。

震災にかかる損失

ア、予約キャンセル（4月15日～5月10日受付）

*宿泊に関するキャンセル

133件 1,031名 1,330万円

*宴会に関するキャンセル

41件 978名 390万円

イ、立寄り客利用前年比

*バイキング利用客

前年 33,031名 35,062万円

本年 23,864名 25,450万円 (人数27.8%減 金額27.4%減)

*物産館立寄り客

前年 46,981名

本年 31,228名 (人数33.5%減)

ウ、5月大型連休前年比（4月29日～5月8日の間）

前年 6,839名 980万円

本年 2,512名 540万円 （人数63.2%減 金額44.9%減）

エ、夏休み期間の利用客数の前年比

前年 24,197名

本年 20,212名 （人数16.5%減）

また、震災による影響で売上、利用客の減少に伴い、近隣の被災の影響により誘客も見込めないことから会社の経営継続、雇用の確保を図る為、人件費を含めた実行され得る限りの経費削減に努めてきた。

人件費削減対策

- ・役員報酬カット ・管理職手当カット ・残業、勤務時間の削減
- ・新規採用中止 ・退職者8名（課長1名 係長1名 主任1名 パート5名）

人件費関係経費が前年より約750万円の減となった。

年度末就業状況

取締役5名（うち常勤役員 2名） 監査役 1名

正社員 11名 パート20名

レストラン支援部 10名 警備（嘱託）1名 従業員合計 42名

5期比較 要約損益計算書

(単位:千円)

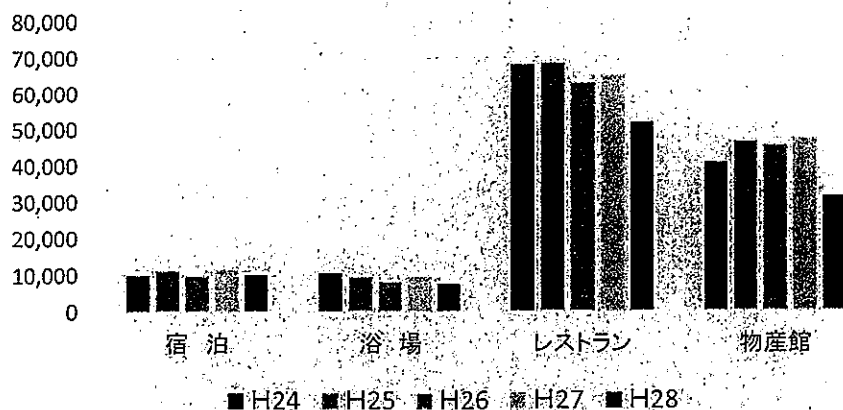
年度	H24	H25	H26	H27	H28
売上高	252,575	262,418	242,700	256,663	233,426
売上原価	94,637	101,240	90,233	95,688	91,836
売上総損益	157,938	161,178	152,467	160,975	141,590
販売管理費計	156,198	156,881	157,399	158,911	143,163
営業損益金額	1,740	4,297	-4,932	2,064	-1,573
営業外収益	1	1	2	42	25,034
営業外費用	489	634	1,173	827	898
経常損益金額	1,252	3,664	-6,103	1,279	22,563
固定資産除却損	0	0	0	0	1,597
法人税等	183	183	183	184	184
当期損益	1,069	3,481	-6,286	1,095	20,782

5期比較 来場客数

(単位:人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
宿泊	10,102	11,069	9,814	11,402	10,228
浴場	10,722	9,521	8,186	9,535	7,646
レストラン	67,766	68,212	62,721	64,700	51,556
物産館	40,559	46,318	45,170	46,981	31,228
製造・体験	230	322	705	445	549
合計	129,379	135,442	126,596	133,063	101,207

5期比較 客数



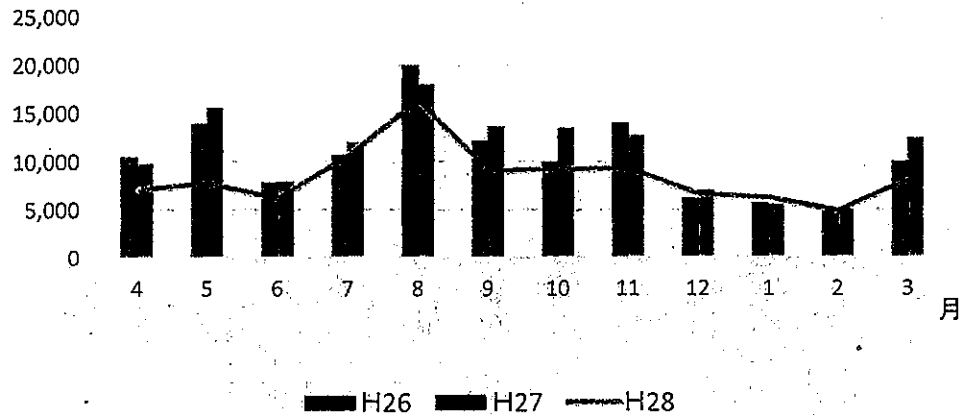
総客数・総売上 3期比較

【客数】

(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
H26	10,541	14,001	7,859	10,728	20,011	12,214	9,998	14,032	6,229	5,716	5,202	10,065	126,596
H27	9,796	15,616	7,913	12,021	18,035	13,676	13,476	12,767	7,041	5,531	5,002	12,489	133,363
H28	7,053	7,778	6,154	10,549	16,348	9,043	9,176	9,266	6,633	6,216	4,873	8,118	101,207

利用者 比較表

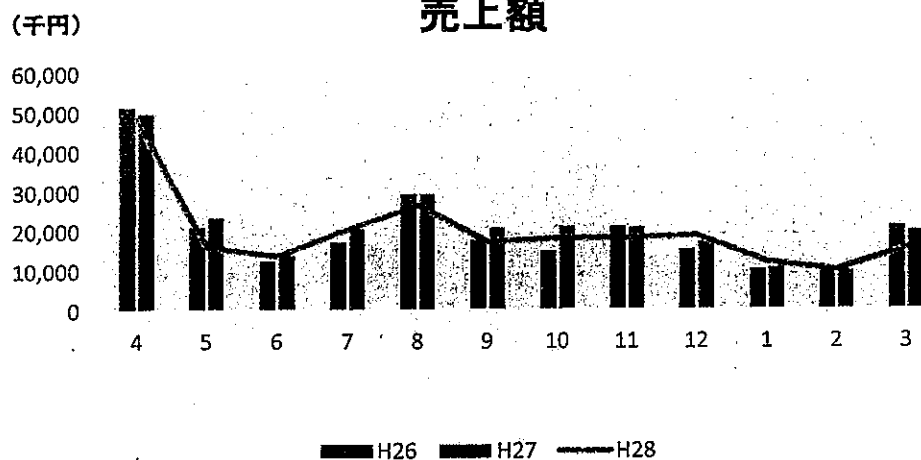


【売上】

(単位:千円)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
H26	51,352	21,231	12,607	17,277	29,548	17,811	15,008	21,140	15,338	10,301	9,876	21,210	242,699
H27	49,667	23,432	13,896	20,503	29,368	20,799	21,037	20,798	17,092	10,543	9,607	19,920	256,662
H28	48,407	15,883	13,681	20,325	26,374	17,135	17,941	18,009	18,677	11,857	9,810	15,364	233,463

売上額



決 算 報 告 書

(第 21 期)

自 2016年 4月 1日
至 2017年 3月31日

有限会社 そよ風遊学協会

貸 借 対 照 表

2017年 3月31日 現在

有限会社 そよ風遊学協会

(単位： 円)

資産の部

【流動資産】

現 金 ・ 預 金	10,733,112
売 掛 金	3,419,644
ク ー ホ ン	99,600
ク レ シ ャ ッ ト	767,694
原 材 料	4,331,928
立 替 金	12,400
前 払 費 用	298,200
仮 払 金	10,454

流 動 資 産 合 計

19,673,032

【固定資産】

【有形固定資産】

建 物	2,332,513
建 物 附 属 設 備	184,819
構 築 物	556,498
車 両 運 搬 具	6,818,860
工 具 器 具 備 品	6,709,015

有 形 固 定 資 産 合 計

16,601,705

【投資その他の資産】

出 資 金	1,001,000
長 期 前 払 費 用	348,171

投 資 そ の 他 の 資 産 合 計

1,349,171

固 定 資 産 合 計

17,950,876

【繰延資産】

繰 延 資 産	1
---------	---

繰 延 資 産 合 計

1

資 産 の 部 合 計

37,623,909

負債の部

【流動負債】

買 掛 金	5,648,686
短 期 借 入 金	20,000,000
未 払 金	8,368,806
未 払 法 人 税 等	182,500
未 払 消 費 税	1,394,900
預 り 金	151,128

流 動 負 債 合 計

35,746,020

【固定負債】

長期借入金	28,425,000	
固定負債合計		28,425,000
負債の部合計		64,171,020

純資産の部

【株主資本】

資本金	100,000,000	
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	-126,547,111	
その他利益剰余金合計	-126,547,111	
利益剰余金合計	-126,547,111	
株主資本合計		-26,547,111
純資産の部合計		-26,547,111
負債及び純資産合計		37,623,909

損 益 計 算 書

自 2016年 4月 1日
至 2017年 3月31日

有限会社 そよ風遊学協会

(単位： 円)

【売上高】

売	上	高	44,989,146
レ	ス	ト	89,615,999
販		売	56,364,051
体		験	7,294,164
雑		入	1,070,311
管	理	委 託 料	34,092,593

売 上 高 合 計

233,426,264

【売上原価】

フ	ロ	ン	ト	5,034,741
レ	ス	ト	ラ	37,417,382
体			験	3,608,284
物			販	45,775,930
合			計	91,836,337

売 上 原 価

91,836,337

売 上 総 利 益 金 額

141,589,927

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費合計

143,163,204

営 業 損 失 金 額

1,573,277

【営業外収益】

受	取	利	息	493
雑		収	入	33,883
役	場	補	助 金	25,000,000
営	業	外	収 益 合 計	25,034,376

【営業外費用】

支	払	利	息	326,341
貸	倒	損	失	568,160
雑		損	失	4,086
営	業	外	費 用 合 計	898,587

経 常 利 益 金 額

22,562,512

【特別損失】

固 定 資 産 除 却 損

1,597,280

特 別 損 失 合 計

1,597,280

税引前当期純利益金額

20,965,232

法 人 税 等

183,594

当 期 純 利 益 金 額

20,781,638

販売費及び一般管理費内訳書

自 2016年 4月 1日
至 2017年 3月31日

有限会社 そよ風遊学協会

(単位: 円)

役 員 報 酬	1,740,000
給 料 手 当	33,381,292
雑 給	45,310,944
法 定 福 利 費	8,012,286
福 利 厚 生 費	1,789,029
外 注 費	2,070,800
荷 造 運 賃 発 送 費	114,449
広 告 宣 伝 費	1,933,685
交 際 費	296,751
会 議 費	191,358
旅 費 交 通 費	1,106,934
通 信 費	1,058,697
消 耗 品 費	4,118,513
事 務 用 消 耗 品 費	393,020
修 繕 費	929,513
水 道 光 熱 費	22,923,285
新 聞 図 書 費	151,491
諸 会 費	323,914
支 払 手 数 料	1,854,687
車 両 費	3,035,041
保 険 料	1,317,960
支 払 報 酬	1,219,288
減 価 償 却 費	3,214,874
賃 借 料	1,457,519
租 税 公 課	711,576
雑 費	536,012
研 修 費	111,723
イ ベ ン ト 費	99,727
保 守 点 検	3,294,544
リ ネ ン 費	464,292

販売費及び一般管理費合計

143,163,204

株主資本等変動計算書

自 2016年 4月 1日
至 2017年 3月31日

有限会社 そよ風遊学協会

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高	100,000,000
	当期末残高	100,000,000
利 益 剰 余 金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	-147,328,749
	当期変動額 当期純利益金額	20,781,638
	当期末残高	-126,547,111
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高	-147,328,749
	当期変動額	20,781,638
	当期末残高	-126,547,111
株 主 資 本 合 計	当期首残高	-47,328,749
	当期変動額	20,781,638
	当期末残高	-26,547,111
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高	-47,328,749
	当期変動額	20,781,638
	当期末残高	-26,547,111

監査報告書

平成29年5月24日

有限会社 そよ風遊学協会

代表取締役 宮原良一 殿

第21期事業年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）の
事業報告、貸借対照表、損益計算書、株主資本等計算書及び
附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると
認めます。

尚、監査時において、「中小企業の会計に関する基本要領」
に基づき、下記の処理を行った後、監査を終了しております。

記

過年度分の売掛金にて、その回収が不能と予見される4件
総額568,164円については、備忘価額を設定し、貸倒処理を
行いました。

以 上

監査役

中原 秀人



監査役補助

小山 隆夫



平成29年度
事業計画

有限会社 そよ風遊学協会

震災により道路アクセスや近隣の被災により観光客の入込みが見込めないため、減収、減益は否めなく経費の節減や抑制を重点的に行ってきたところではあるが、この経費の節減や抑制においても限界のところまできている。これから先、道路アクセスなど少しずつ復興は進んでいるものの以前の状態に回復するには、まだ時間がかかると考えられる中、これ以上、経費の抑制を重点にした営業を進めれば従業員のモチベーションの低下や地域との取引の減少など地域貢献にも影響が生じ、最終的にはお客様へのサービス低下に繋がり、更なる減収、減益になっていくものと考えられる。このような状況であるからこそ増客、増益のために積極的な施策に取り組んでいく。

それをふまえたうえで、営業では広域的営業展開による老人会等組織団体の確保で収益を上げ、経費面では、電気・ガスなどのエネルギー節約による費用削減、また従業員に対しては、接客業務等能力向上のための教育の、以上3点をH29年度の重点項目として取り組んでいく。

①人について

- ・資格を持つ優秀な人材の確保
- ・研修の強化（スキルアップ講座、接客マナー講座など）
- ・労働意欲増を図る為のペースアップ

②新商品の開発

- ・ブルーベリー関連商品の開発（ジャム、ソース）
- ・土産物商品（箱菓子、惣菜など）

③広告宣伝

- ・老人会や各団体誘致（紙媒体の活用）
- ・合宿誘致
- ・ネット広告（じゃらん、楽天トラベルなど）
- ・自社ホームページリニューアル、新規パンフレット作製
- ・旅行会社への営業
- ・近隣観光施設と連携を強化し観光コースの構築。

④イベント

- ・年6回開催（収穫祭やスポーツ関連など）
- ・出店（熊本、宮崎、福岡など）

⑤グラウンド整備

- ・芝管理を徹底して、グラウンド活用を促進する。

宿泊	・合宿誘致 各スポーツや勉強合宿（小学校、中学校、高校、大学など）、企業研修での活用 ・シニア グランドゴルフを中心に各カルチャサークルへの営業を強化し、平日の稼働をあげる。 ・ファミリーやグループ層 近隣の観光施設との連携を強化し四季を通じてのプランを充実させ、それぞれの年代層の集客を図る。 ・ビジネス関係 仕事で利用される方も多いため、連泊プランを充実させ、平日の稼働をあげる。楽天トラベルの活用
レストラン	・山菜バイキング 季節ごとのメニューの充実。 ・宿泊 四季ならではの懐石料理を充実させる。 ・宴会 冠婚葬祭、その他の団体へ営業強化（町内、及び近隣） ・ディナーバイキング
物産館	・自社の新商品開発 ブルーベリージャム、乾物関係 ・販売活動強化 各イベントの出店、都市部への販売できる商品づくり ・販売スタッフ、生産者合同研修会。 販売スタッフと生産者との連携強化 ・積極的に外販イベントに参加する。
体験	・体験活動強化 専門スタッフを置き、常時体験受入れ体制の強化を図る。 パン、ジャム、田舎料理教室 ・農園の活用（農薬不使用野菜） 計画的生産の実施、出荷、自家消費 ・地域のガイド
その他	・研修会の実施（社員の能力アップの為の教育） 各専門分野の外部講師による研修会（IT、接遇、安全管理など）